

# 令和5年度 第1回函館市縄文遺跡群保存活用協議会

日 時 令和5年11月21日(火)

10:30～12:00

場 所 南茅部総合センター 講堂

## 次 第

### 1 開 会

### 2 挨 拶

教育委員会生涯学習部次長

### 3 出席者紹介

### 4 議 事

#### (1) 協議事項

① 協議会の設置および委員の委嘱について

② 会長・副会長の選任について

#### (2) 報告事項

① 縄文遺跡群の保存活用

② 縄文遺跡群の普及啓発

③ 世界遺産の保全にかかる遺産影響評価（令和5年度上半期）

#### (3) その他

### 5 閉 会

令和5年度 第1回函館市縄文遺跡群保存活用協議会  
出席者名簿

(敬称略)

●函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

委員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長
委員	佐藤 安浩	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長
委員	田名部 忠勝	函館市南かやべ縄文文化創生の会 事務局長
委員	大宮 トシ子	北の縄文CLUB 会長
委員	酒井 康次	函館商工会議所 専務理事 【欠席】
委員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長
委員	田中 佳丈	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長
委員	山口 哲也	函館市中学校長会 南茅部中学校 校長 【欠席】
委員	伊勢 一哉	北海道南茅部高等学校 校長
委員	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長
委員	中本 邦雄	白尻町内会 会長
委員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長

教育委員会	宮田 至	生涯学習部次長
	木村 元子	生涯学習部文化財課長
	野村 祐一	生涯学習部文化財課 主査
	吉田 力	生涯学習部文化財課 主査
	加藤 歩	生涯学習部文化財課 主任主事
	小塚 陽介	生涯学習部文化財課 主事
	藤田 真由	生涯学習部文化財課 主事
南茅部支所	外山 覚	南茅部支所地域振興課長
	長谷山 裕一	南茅部支所産業建設課長
観光部	井本 剛志	観光部観光企画課長
都市建設部	小坂 未希子	都市建設部まちづくり景観課 景観担当主査
	亀川 明寛	都市建設部まちづくり景観課 伝建担当主査
	上野 愛里	都市建設部まちづくり景観課 伝建担当主事

## 函館市縄文遺跡群保存活用協議会設置要綱

### (設置)

第1条 函館市の史跡垣ノ島遺跡および史跡大船遺跡（以下「縄文遺跡群」という。）の保存および活用を推進するため、函館市縄文遺跡群保存活用協議会（以下「協議会」という。）を設置し、組織について必要な事項を定めるものとする。

### (協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 縄文遺跡群の保存および活用に関する事項
- (2) 縄文遺跡群の周辺の保全に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、協議会が必要と認める事項

### (組織)

第3条 協議会は会長、副会長および委員をもって構成する。

- 2 会長は委員の互選により定め、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は協議会を代表し会務を総理する。
- 4 委員は別表に掲げる組織に属する者とする。ただし、必要に応じて会長が指名する者を委員とすることができる。
- 5 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときまたは会長が欠けたときは、その職務を代行する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は再任することができる。

### (会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じ招集する。

- 2 会長は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、説明または意見を求めることができる。
- 3 副会長および委員は、やむを得ない事情により会議に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、函館市教育委員会生涯学習部文化財課において処理する。

### (補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

## 附 則

この要綱は、令和元年7月2日から施行する。

函館市縄文遺跡群保存活用協議会 委員名簿

令和5年11月21日現在

委員	竹内 正幸	道南縄文文化推進協議会 事務局長
委員	佐藤 安浩	一般財団法人道南歴史文化振興財団 事務局長
委員	田名部 忠勝	函館市南かやべ縄文文化創生の会 事務局長
委員	大宮 トシ子	北の縄文CLUB 会長
委員	酒井 康次	函館商工会議所 専務理事
委員	三浦 孝史	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 事務局長
委員	田中 佳丈	函館市小学校長会 南茅部小学校 校長
委員	山口 哲也	函館市中学校長会 南茅部中学校 校長
委員	伊勢 一哉	北海道南茅部高等学校 校長
委員	熊谷 儀一	南茅部町内会連絡協議会 会長
委員	中本 邦雄	臼尻町内会 会長
委員	佐々木 孝比古	大船町内会 会長

別表

函館市縄文遺跡群保存活用協議会委員

役職	部門	所 属	備 考
委 員	民間	道南縄文文化推進協議会	活用, 観光振興
委 員	民間	一般財団法人道南歴史文化振興財団	活用, 調査・研究
委 員	民間	函館市南かやべ縄文文化創生の会	保存, 活用, 地元調整
委 員	民間	北の縄文C L U B	活用
委 員	民間	函館商工会議所	観光振興, 地域振興
委 員	民間	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会	観光振興
委 員	教育	函館市小学校長会	活用, 教育活動
委 員	教育	函館市中学校長会	活用, 教育活動
委 員	教育	北海道南茅部高等学校	活用, 教育活動
委 員	地域	南茅部町内会連絡協議会	地域振興, 保存
委 員	地域	白尻町内会	地域振興, 保存
委 員	地域	大船町内会	地域振興, 保存

※会長, 副会長 委員のうち1名

## 〔資料 2〕 令和 5 年度 縄文関係事業実施内容

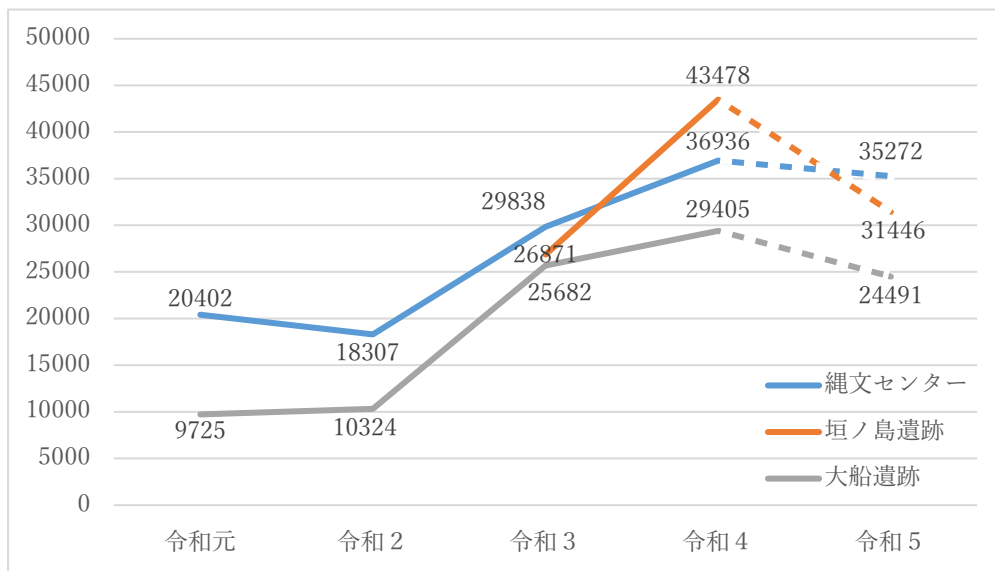
### 1 縄文遺跡群の保存活用

#### ア 縄文遺跡群への来場者推移

縄文関連施設来場者数

(単位：人)

施設名	令和元年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	令和 5 年度 2023
縄文センター	20,402	18,307	29,838	36,936	26,401
垣ノ島遺跡	—	—	26,871	43,478	29,698
大船遺跡	9,725	10,324	25,682	29,405	20,800
備 考			R3.7 世界遺産登録 垣ノ島遺跡公開		~R5.10月末



※令和 5 年度は、11 月から 3 月まで前年同様の来訪とした場合の想定人数

#### 〔参考〕 縄文遺跡群関連核施設の来場者推計

施設名	登録前年度 令和 2 年度	登録初年度 令和 3 年度	登録 2 年目 令和 4 年度	登録 3 年目 令和 5 年度	登録 4 年目 令和 6 年度
縄文センター	20,402	64,923	39,768	31,674	31,674
垣ノ島遺跡	—	152,130	93,185	74,218	74,218
大船遺跡	9,725	30,947	18,956	15,097	15,097

縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方 令和 2 年 (2020 年) 10 月

## イ 受入体制整備

- 1) 大船遺跡史跡外駐車場の供用開始 3/25—  
5/30 協議会視察
- 2) 臨時駐車場の開設 5/3—10/8  
第1 臨時駐車場（東海団地） 第2 臨時駐車場（南茅部スポーツセンター）
- 3) シャトルバスの運行 5/3—10/8  
臨時駐車場～縄文文化交流センター
- 4) 垣ノ島遺跡デジタルコンテンツ P. 8 参照
- 5) 大船遺跡史跡外駐車場からの園路整備・電気柵設置 P. 9 参照
- 6) 垣ノ島遺跡案内窓口施設建設（建設中） P. 10 参照
- 7) 道路標識看板の整備  
7月・10月 開発建設部・渡島道路事務所等と協議
- 8) 定期観光バス「はこだて縄文ライナー」 南茅部支所  
運行日：8/11—10/8 の土日祝日  
所要時間：6時間 料金：5,000円（センター入館料，昼食代含む）  
函館駅市街地—縄文センター・垣ノ島遺跡・大船遺跡・（提携飲食店・土産店）

### 縄文ライナー運行実績

	稼働日数	利用者数	1日平均
8月	4日	30人	7.5人
9月	5日	83人	16.6人
10月	3日	33人	11.0人
合計	12日	146人	12.2人



大船遺跡 史跡外駐車場

**はこだて縄文ライナー**  
Hakodate Jomon LINER

2021年にユネスコ世界文化遺産になった遺跡や史跡を半日で巡ります。

- ◆世界遺産と国宝を解説付きで見学
- ◆海の幸や縄文に因んだ美味しい昼食
- ◆効率よく遺跡を巡り午前中で見学可

運行日：2023年  
8/11(金)・8/12(土)・8/19(土)・8/26(土)  
9/2(土)・9/9(土)・9/16(土)・9/23(土)・9/30(土)  
10/1(日)・10/7(土)・10/8(日)

半日で巡る 世界遺産と国宝を

¥5,000-  
縄文センター入館料  
昼食代含む  
乗車料  
※予約必須

08:20 南茅部駅前4時前よりバ  
08:30 南茅部駅前(集合場所)  
08:40 南茅部(縄文センター見学)特別解説  
09:30 縄文文化交流センター見学(特別解説)  
10:00 南茅部(ランチ休憩)  
11:30 大船遺跡(特別解説)  
11:50 歴史(2部章の敷石遺跡を巡る)  
12:50 南茅部(ランチ休憩)見学(縄文センター見学)  
13:30 南茅部(ランチ休憩)  
13:40 南茅部(縄文センター見学)  
13:50 南茅部(解散)

※乗車料は乗車前にお支払いください。  
※乗車料は乗車前にお支払いください。  
※乗車料は乗車前にお支払いください。

お問い合わせ先：南茅部支所  
南茅部バス株式会社 TEL 0138-22-3265

## 2 縄文遺跡群の普及啓発

### ア 世界遺産登録2周年記念事業

#### 1) JOMON WEEK 2023 7/19-7/30

会場：テアオーデパート

- a) 第6回 道新縄文絵画コンクール作品展示
- b) 縄文パネル展・出土品展
- c) みんなで描こうJOMON渡島 with ひづめみか〜る



第6回縄文絵画コンクール作品表彰式



みんなで作ろうJOMON渡島 with ひづめみか〜る

#### 2) DOKI! DOKI! JOMON EXPO 9/30-10/9

会場：函館山ロープウェイ

- a) 縄文アートお披露目会
- b) 国宝土偶レプリカ展示
- c) 縄文ワークショップ、パネル展示
- d) 縄文関連動画上映



縄文アート



国宝土偶レプリカ展示



3) はこだて縄文まつり 2023 in 垣ノ島 10/8

来訪者 約 1200 人

- 内容
- ・ステージ・パフォーマンス  
函館巴太鼓・函教大吹奏楽・  
木直大正神楽 ほか
  - ・縄文体験（火起こし体験など）
  - ・縄文マルシェ
  - ・スタンプラリー



縄文まつり会場



体験ブース（火起こし・土器パズル）

4) 縄文体験学習「中空土偶をだっこしてみよう」 10/9

会場：縄文文化交流センター

5) 第6回 道新縄文絵画コンクール作品展示 9/30-10/9

会場：縄文文化交流センター



中空土偶（レプリカ）をだっこしてみよう



道新縄文絵画コンクール作品展示

## イ 普及啓発活動

- 1) 郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」  
市立小学校3年生児童  
対象校39校中33校(1096人)が実施済み(10月末現在)  
残り6校は11月中に実施予定
- 2) 「函館空港で「縄文」を感じませんか」出展 4/21-5/14
- 3) 地学協働学習フォーラム 5/20  
『世界遺産・函館市「垣ノ島遺跡」・千歳市「キウス周堤墓群」の縄文に学ぶ』
- 4) はこだて健幸アプリ～Hakobit(ハコビット) 保健福祉部  
スタンプラリーコース 南茅部で世界遺産を旅する～縄文の心いまに～  
エリア1 垣ノ島遺跡 エリア2 大船遺跡
- 5) 縄文フォトコンテスト2023 7/14-R6.1/12
- 6) 中国語ガイド人材育成事業 9/26-9/27 観光部  
縄文文化研修会 中国語通訳5名
- 7) 埼玉イオンレイクタウンmori「北海道フェア」出展 9/20-9/25 経済部

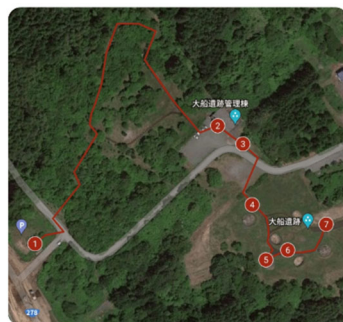


郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」



函館空港展示

1. 大船遺跡駐車場
2. 管理棟
3. 案内板(世界遺産共通サイン)
4. 「縄文のにわ」竪穴住居
5. 「縄文のにわ」竪穴住居(完全復元)
6. 「縄文のにわ」重なり合う住居
7. 「縄文のにわ」盛り土遺構



Hakobit 大船遺跡コース



埼玉イオンレイクタウン



## ウ 他団体事業への協力

### 1) 北海道

#### a) 渡島教育局

##### 渡島フロンティア人材育成事業

協力校：南茅部高校・南茅部中学校・南茅部小学校

##### 6/12 バス研修

七飯町歴史館・北斗市郷土資料館・森町遺跡発掘調査事務所

##### 8/23 南かやべ地域学研修会

講師：奥平 理准教授（北海道教育大学函館校）

##### 9/3-9/5 JOMON渡島高校生PRキャラバン

小牧野遺跡・三内丸山遺跡見学

青森県立青森南高校との交流会

#### b) 北海道博物館「北の縄文世界と国宝」展 7/22-10/1

国宝土偶，垣ノ島遺跡出土品ほか出品

##### 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」フォーラム 8/19

##### 「北の縄文展 2023 in 北斗市」 12/1-3/16

会場：北斗市郷土資料館

#### c) 北海道・縄文世界遺産推進室

##### 縄文×NFTデジタルスタンプラリー 10/13-R6. 1/31

#### d) 渡島総合振興局

##### インバウンド向けアクセスマップ (作成中)



北海道博物館 北の縄文世界と国宝展



縄文×NFTデジタルスタンプラリー

## 2) その他団体

### a) 北の縄文CLUB

- 4/15 大船遺跡周辺の清掃活動
- 10/14 大船遺跡での土器野焼き

### b) 縄文DOHNANプロジェクト

- 4/10 小学校入学新1年生へグッズ配布 (クリアファイル・チラシ・ぬり絵)
- 11/3 縄文かるた作成
- 11/30 縄文かるた読み札 (募集中)

### c) 植樹事業

- 10/28 垣ノ島遺跡・オオヤマザクラ 17本 南かやべ森と海の会
- 11/11 大船遺跡・オオヤマザクラ 5本 北海道中小企業家同友会  
(ベンチ2基・スツール2基)

### e) 国際会議等

- 11/1 世界文化遺産インタープリテーション調査研究・現地視察
- 11/4 国際研究会「埋蔵文化財（世界遺産縄文遺跡群）と先住民」  
「地域資源としての遺産と地域社会の関わり」
- 11/5 国際シンポジウム「北海道・北東北の縄文遺跡群の価値理解と普及」



大船遺跡周辺 清掃活動



縄文かるた作成



垣ノ島遺跡 植樹



大船遺跡 植樹

## 垣ノ島遺跡のデジタルコンテンツ

垣ノ島遺跡の価値や魅力を正しくわかりやすく伝え、より楽しくかつ効果的に縄文遺跡を感じることができる環境を創出し、市民の郷土学習の推進や来訪者の満足度向上および国内外からの誘客拡大を目的に、AR(拡張現実)やCG(コンピューターグラフィックス)等の最新のデジタル技術を用いたコンテンツ等を整備。

### (1) 整備経緯

- 令和4年4月 委託契約締結(受託者:NTT東日本・凸版印刷グループ)
- 7月 一部公開開始
- 令和5年3月 事業完了
- 令和5年4月 全部公開開始
- タブレット端末の貸出開始

### (2) 公開コンテンツ

- ・イントロダクション動画(展望デッキ)
- ・AR(狩猟, ムラの暮らし, 竪穴建物, 発掘調査)
- ・VR(展望デッキ, 竪穴建物群, 盛り土遺構の夏と冬, 縄文から続く景観)
- ・コンテンツおよび解説板の多言語解説(字幕・音声ガイド)  
→英語・中国語繁体字・中国語簡体字・韓国語
- ・はこだて縄文学習デジタルブック(webコンテンツ)



### はこだて縄文学習デジタルブック

函館市教育委員会では、市内の小中学生全員に割り当てられたタブレット端末で利用可能なウェブコンテンツとして「はこだて縄文学習デジタルブック」を作成しました。これは世界遺産となった函館の縄文遺跡について、より深くしてもらおうためのもので、遺跡の空撮映像やCGで作成した竪穴建物の内部の様子を動画で見られるほか、土器や石器、土偶などを拡大・回転して観察することができるなど、動画や画像を効果的に用いて楽しく学べるものとなっています。全体の構成は、事前学習・現地見学・振り返り学習の3つに分かれており、それぞれの場面で活用することができます。また修学旅行のほか、観光で他地域から函館の縄文を訪れる方も、広くご活用ください。

URL <https://fukudokuhon.sakura.ne.jp/>



函館市教育委員会生涯学習部文化財課  
電話:0138-21-3563 E-Mail: [bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp](mailto:bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp)





## 大船遺跡の園路等整備

国道278号尾札部道路（バイパス）の部分開通（令和5年3月25日供用開始）に伴い、令和4年度に整備した史跡外駐車場から遺跡内へアクセスする園路を「縄文の森」内に整備するとともに、獣害対策のための電気柵を設置することで、来訪者の利便性および安全性の向上が図られた。

### （1）整備内容

- ・園路の整備（総延長約100m×幅1.8m）
  - 雑木伐採・ウッドチップ舗装・木製階段・手摺
- ・柵の設置（総延長約250m）
  - 電気柵・安全柵（ロープ柵：園路と電気柵の間）
- ・看板設置（2基）
  - 遺跡の総合案内、「縄文の森」の概要説明・道標

### （2）「縄文の森」・園路の供用開始

令和5年8月3日（木）

### （3）今後予定

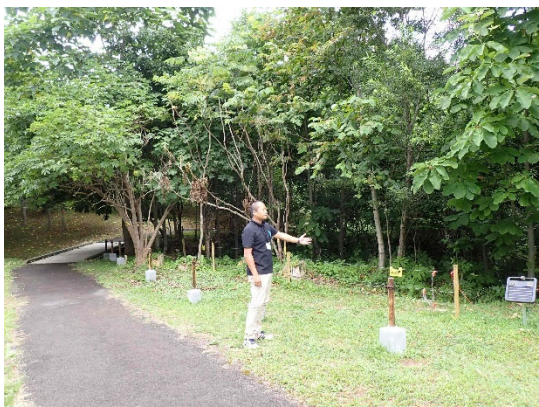
- ・樹木銘板（QRコード貼付）を園路沿いの立木に設置
- ・「縄文の森」内の縄文景観にそぐわない針葉樹の伐採（縄文時代の植生・景観の復元および維持のため）



令和5年度整備図



史跡外駐車場からの階段



電気柵・安全柵



「縄文の森」供用再開の説明会

## 垣ノ島遺跡の案内窓口施設の整備

遺跡見学の導入部となる入口ゲートから展望デッキの間に、遺跡解説やデジタルコンテンツなどの案内窓口となる施設を新たに整備し、案内環境の充実を進め、来訪者の満足度向上を図る。

### (1) 整備

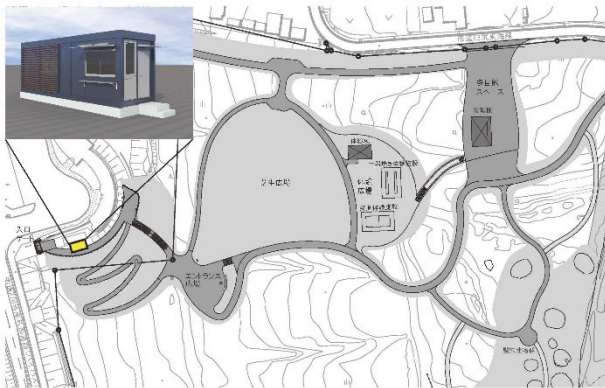
- ・構造 鉄骨平屋建（建築面積 16.64 m<sup>2</sup>）
- ・機能 遺跡案内窓口，遺跡解説・発掘体験受付  
デジタルコンテンツ体験用タブレット貸出等

### (2) スケジュール

令和5年 8月 着工

12月 完成

令和6年 1月 運用開始（予定）



設置位置図



完成予想パース



着工前（8月）



基礎工事（10月）

## 〔資料3〕 世界遺産の保全に係る遺産影響評価（令和5年度上半期）

### 1 遺産影響評価

#### 1 遺産影響評価の趣旨

構成資産内及び緩衝地帯を含む周辺地域において計画されている事業等（以下「開発行為等」）が、世界遺産の価値に与える影響の可能性を事前に評価することにより、資産保全と事業実施の合意形成を目指すもの。

※世界遺産条約に基づき、ユネスコは遺産影響評価の実施を締約国に求めています。

#### 2 遺産影響評価の方法

構成資産を所管する自治体が開発行為等の事業内容を把握し、世界遺産の価値に負の影響が想定される場合には詳細分析を実施する。また必要に応じて、開発事業者と開発の中止・変更等の保全に向けた調整・要請等を行う。

#### 3 函館市縄文遺跡群保存活用協議会の役割

函館市教育委員会が把握した開発行為等について事前・事後の報告による情報共有を行い、世界遺産の価値の保全に向けての留意点を確認する。

### 2 遺産影響評価の実施状況

#### 1 令和5年度上半期

垣ノ島遺跡の構成資産内で1件、緩衝地帯で1件、大船遺跡の緩衝地帯で1件の開発行為等を把握し、それぞれ遺産影響評価を実施した。

（別添「遺産影響評価実施概要」のとおり）

事業名	場所	評価
① 案内窓口施設建築工事	垣ノ島遺跡・緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル1）
② 南かやべ森と海の会 令和5年度秋季植樹事業	垣ノ島遺跡・構成資産内	⇒ 影響なし（レベル1）
③ 北海道中小企業家同友会 令和5年度植樹活動	大船遺跡・緩衝地帯	⇒ 影響なし（レベル1）



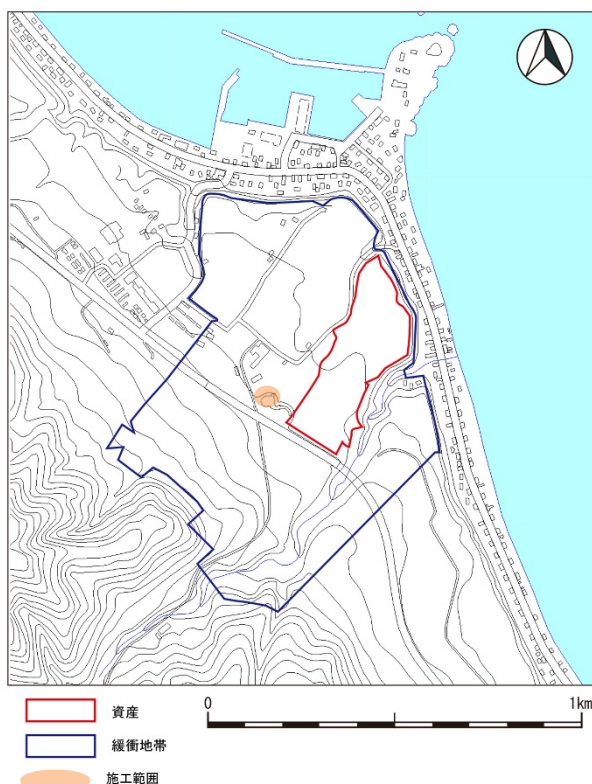
## 遺産影響評価実施概要

## 1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	案内窓口施設建築工事
事業地	函館市臼尻町551番1, 551番2外（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 着工：令和5年6月16日 完了：令和5年12月15日（予定）
事業内容	垣ノ島遺跡の入口ゲートから展望デッキ間に、来訪者の案内窓口となる鉄骨平屋造の施設を新たに整備する。

## 2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見える
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	過去に客土した箇所に据え置く仕様とすることにより、地下遺構への影響はほぼ皆無であるとともに、外壁にはネイビー色を基調とした落ち着いた色彩を選択し、遺跡および隣接する縄文文化交流センターとの調和を考慮している。
その他	工事の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年5月22日



着工前  
(8月)



工事中  
(10月)

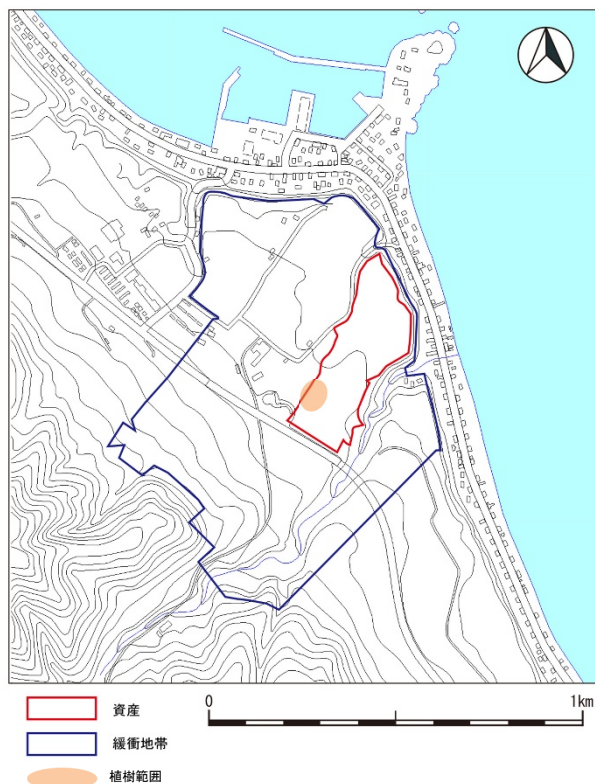
## 遺産影響評価実施概要

## 1. 事業概要

近接する構成資産	垣ノ島遺跡
事業（工事）名称	南かやべ森と海の会 令和5年度秋季植樹事業
事業地	函館市臼尻町439, 440-1, 440-2外（構成資産内）
事業期間	工事期間 着工：令和5年10月28日 完了：令和5年10月28日
事業内容	遺跡内のエントランス広場から体験広場間の園路沿いに、樹高約1.5mのオオヤマザクラを17本植樹する。

## 2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見える
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	史跡園路沿いに在来樹種を植樹することにより、資産内ならびに視点場からの景観の改善に寄与するものである。また、植樹範囲における表土は十分な保護層が確保されていることから、地下遺構への影響も軽微である。
その他	掘削の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年6月28日



植樹の様子



植樹後

## 遺産影響評価実施概要

## 1. 事業概要

近接する構成資産	大船遺跡
事業（工事）名称	北海道中小企業家同友会 令和5年度植樹活動
事業地	函館市大船町575-1（緩衝地帯）
事業期間	工事期間 着工：令和5年11月10日 完了：令和5年11月11日
事業内容	遺跡内の「縄文の森」入り口（管理棟側）付近の園路沿いに、樹高約3mのオオヤマザクラを5本植樹する。また、植樹位置近くに木製ベンチおよび木製スツールをそれぞれ2基設置する。

## 2. 遺産影響評価

構成資産からの眺望	構成資産範囲内から見えない
世界遺産の価値への影響	影響なし（レベル1）
詳細分析の要否	不要
評価理由	史跡園路沿いに在来樹種を植樹することにより、資産内ならびに視点場からの景観の改善に寄与するものである。また、植樹範囲における表土は十分な保護層が確保されていることから、地下遺構への影響も軽微である。
その他	掘削の際には函館市教育委員会文化財課職員が立会する。
評価実施日	令和5年8月28日



植樹の様子



植樹後